

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No.195

2007年

3～4月号

行 事 案 内

3月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 3月11日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 そろそろカモ達が北の国へ帰り始めます。旅立ちの時期も種類によってそれぞれ違います。そして南の国からやって来るツバメが見られるかもしれません。注意して観察しましょう。
解 散 正午頃
担 当 佐々木、松田、飯島、桑森、野口(紀)、小林(寿)、北原

案 内 数多くの冬鳥や水鳥を期待できません。
持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中のコンビニで購入可)
交 通 自家用車分乗。車を提供できる方はその旨も。便乗者は運転者に一人1,500円をお渡しください。
申 込 諏訪哲夫まで
〒270-1111
我孫子市古戸230-6
Tel: 04-7188-7137

担 当 諏訪哲夫、田中功

4月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 4月8日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 どんな冬鳥が残っているでしょう、旅鳥・夏鳥が来ているのでしょうか? カンムリカイツブリの頭は? 陽光を浴びて観察しましょう。
解 散 正午頃
担 当 松田、桑森、小林(寿)、野口(紀)、北原、飯島、佐々木

東京港野鳥公園探鳥会

期 日 4月22日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅改札口 午前8時
案 内 途中乗車の方は我孫子発 08:10の快速電車に乗って下さい。
東京港野鳥公園で干潟・湿地のシギ・チドリや汽水湖・淡水湖のカモ達、疎林・草原の小鳥達を楽しみます。オオタカの飛翔も期待します。
持 物 観察用具、雨具、弁当(途中購入も可)
交 通 JRで大森駅まで行き、大森で京急バスに乗り換えます。切符は各自購入して下さい。JR大森駅までは都区内フリー切符が割安。
申 込 不要
担 当 田中、諏訪

北本自然公園探鳥会

期 日 3月25日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前7時30分

筑波山探鳥会

期 日 5月3日(木) 雨天中止
 集 合 我孫子駅北口 午前7時
 案 内 恒例のゴールデンウィーク探鳥会
 です。本隊(健脚向き)は筑波山の裏
 側から探鳥しながら御幸ヶ原に登
 ります。別隊(一般向き)は筑波山神
 社で探鳥後、ケーブルカーを利用し
 て御幸ヶ原で本隊と合流します。そ
 の後、男体山を周遊する自然研究路
 を一周し、裏側から下山します。ソ
 ウシチョウ、オオルリ、ツツドリの
 美声と姿に出会えるでしょう。

持 物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)
 交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人
 1,500 円を運転者にお渡しください。
 なお、申し込みの際、自家用車
 を提供可能な方はその旨ご連絡く
 ださい。

申 込 猪爪敏夫まで(本隊、別隊の希望を
 お知らせください)
 Tel/Fax 04 - 7186 - 5075

担 当 猪爪、染谷
 (注)ケーブルカー利用者は別途 片道大人
 570 円、子供 290 円必要です。

平成19年度定期総会のお知らせ

日 時 4月8日(日) 13:30~
 場 所 アビスタ1F 工芸工作室
 議 題

1. 平成18年度活動報告、同決算報告
2. 平成19年度事業計画案、同予算案
3. 役員改選

18年度の成果を総括し、19年度の活動
 方針・予算を決める総会です。また、任期
 満了に伴い役員改選を行ないます。出来る
 だけ多数の会員の出席をお願いし、活発な
 総会になるよう期待いたします。

台湾の野鳥学会の機関誌に我孫子野鳥を守
 る会のJBFでの活動が載りました。

間野吉幸

和訳：我孫子鳥会(我孫子野鳥を守る会)

60才以上の何人かの鳥の愛好家は、色んな
 (同じでない)役に扮し、板に書いた物語を
 小さな舞台上で演じながら語っているのを子
 供たちは聞いていた。台湾にはこのような書
 面(紙芝居での物語り)はない。見たところ
 なかなか綺麗で立派で温かい気持ちができ
 てくる。(訳：水野保夫さん)

3月幹事会開催案内

日時 3月11日(日) 13:30~16:30
 場所 アビスタ1F 工芸工作室
 議題

1. 総会提出資料の検討
 18年度活動報告及び決算案
 19年度事業計画及び予算案
2. 会報196号記載記事について
3. その他(議題があれば事務局へ)

平成19年度行事予定

4月8日(日)	手賀沼探鳥会 定期総会
4月22日(日)	東京港野鳥公園探鳥会
5月3日(木・祭)	筑波山探鳥会
5月13日(日)	Enjoy!手賀沼 幹事会
6月2、3日 (土、日)	花賞溪谷・里美牧場探鳥 会
6月10日(日)	手賀沼探鳥会
6月24日(日)	笹岡・飯岡探鳥会
7月8日(日)	手賀沼探鳥会 幹事会
7月21,22(土、日)	富士山奥庭探鳥会
7月28日(日)	映写会 納涼会
8月5日(日)	ホタルの夕べ
8月12日(日)	手賀沼探鳥会
8月26日(日)	三番瀬・谷津探鳥会
9月9日(日)	手賀沼探鳥会 幹事会
9月22、23日 (土、日)	白樺峠夕力の渡り探鳥 会

行 事 報 告

1 2 月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2006年12月10日 9:00~12:00
 00 晴れ・無風 気温 10

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、オオハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミコアイサ、ノスリ、チョウゲンボウ、キジ、バン、オオバン、タゲリ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ルリビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、ベニマシコ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 53種

<探鳥班> 北原建郎、間野吉幸、諏訪哲夫、染谷迪夫、西巻実、谷山晴男、田丸喜昭、田丸メリーリス、木村稔、宮下三禮、川田光男、石渡成紀、大久保陸夫、飯島博、天野正臣、天野睦子、松田幸保、中野久夫、後藤弘美、片桐邦夫、榎本右、頼地佑子、小林寿美子、野口紀子、太田暁子、玉井修一郎、猪爪敏夫、武藤康之、常盤孝義、鈴木静治、西嶋昭生、西嶋みどり、六角昭男、小玉文夫、植田啓介(担当) 桑森亮
 参加者 36名

<カウント班> 飯泉仁、飯泉久美子
 調査日時 2006年12月3日 13:15~15:30 無風、11、曇りのち晴れ

調査種	上 沼	下 沼	合 計
カイツブリ	11	20	31
ハジロカイツブリ	1	5	6
カンムリカイツブリ	21	14	35
カワウ	48	161	209

タ ^ニ イギ ^キ	2	6	8
コサギ	3	16	19
アオサギ	9	5	14
コブハクチョウ	9	3	12
マガモ	0	12	12
カルガモ	72	25	97
コガモ	0	25	25
オカヨシガモ	6	1	7
ヒドリガモ	0	16	16
オナガガモ	0	17	17
キンカシロ	1	0	1
ミコアイサ	3	1	4
オオバン	225	26	251
ユリカモメ	43	42	85
セグロカモメ	0	3	3
合 計	454	398	852

1 月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2006年1月14日 9:00~12:00
 晴れ 風弱 気温 10

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、オオハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、スズガモ、ミコアイサ、ミサゴ、チョウゲンボウ、オオバン、タゲリ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、クロジ、オオジュリン、カワラヒワ、ウソ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 49種 番外：カワラバト

<探鳥班> 大久保陸夫、武藤康之、飯島博、北原建郎、諏訪哲夫、西巻実、松田幸保、宮下三禮、常盤孝義、榎本右、石渡成紀、片桐

渡良瀬遊水地探鳥会

11月26日

日本最大の葎原（遊水地）

鳩川 堯

参加者 24 名、車 6 台、うち 6 号車は東京より現地にて集合。我孫子駅北口を 8 時に出発、県道 7 号、17 号、国道 354 号を走り途中、コンビニで弁当購入、ドライブインでトイレタイム、10 時ごろ栃木県藤岡町の谷中湖の駐車場に到着する。

渡良瀬川遊水地は栃木、群馬、埼玉、茨城の県境で、渡良瀬川、巴波川、思川等の合流する広大な葎原で、鉱毒事件で有名な足尾銅山の鉱毒を浄化処理するため明治 30 年代に国が当時の谷中村を廃村して造った遊水地です。

先ず谷中湖は大半がマガモでした。曇りのため晴れの時にはきれいな頭部もさえず。首を長く伸ばして飛ぶカンムリカイツブリやヒドリガモ等を探鳥し、駐車場に戻り昼食、食後も徒歩で樹木のある旧集落の屋敷跡の丘から葎原の雑木にアカゲラ等を探鳥、駐車場に戻り、車で見晴台に行き広大な葎原を眺め、回りの遠景の日光連山等は曇りで薄く、晴れた日に思いをはせ楽しむ。

次に本命のタカ見台という所に移動、ここでは地元の常連らしき 6、7 人がそれぞれスコップを葎原の雑木に構え、なかにはカールツアイスのスコップ単眼、双眼の 2 台を使っている人もいた。

上空には鳥に比べ巨大な鳥、エンジン付のパラグライダー、軽飛行機、ヘリコプターが飛びかう状況のなかで、葎原の雑木に飛来する V 字型飛行のチュウヒ、目の上部から首にかけて白線があるように見えたミサゴ等を見て 3 時頃に探鳥を終り、北川辺の道の駅で鳥合わせを行い散会となる。今回は一日中曇天、陽光なく残念でしたが、寒風もなく、雨は昼時にパラパラと数分だけで、過ごしやすい天候でした。同乗させていただいた松田さん、田丸さん、ほかの運転者、参加者の皆さん、下見をして案内して下さった幹事の方々ありがとうございました。

【担当幹事報告】

< 認めた鳥 > カイツブリ、ハジロカイツブ

邦夫、六角昭男、吉田隆行、天野正臣、小倉正己、小倉希代子、川田光男、島崎純造、岩田孝之、小林秀美、柴本三弘、柴本法子、佐々木隆、佐藤弘美、渡辺政一、浅野利幸、中嶋正義、桑森亮、田丸喜昭、田丸メリールイス、玉井修一郎、小玉文夫、松本勝英、川村美智子、川村美恵子、小口勝久、木村稔、西嶋昭生、西嶋みどり、小川克子、猪爪敏夫、間野吉幸、吉田祥子、渡部喜久子、水野久恭、高山俊子、竹内敏子、竹内クミ、風澤正夫、鈴木静治、染谷迪夫(担当)小林寿美子、野口紀子
計 54 名

< カウント班 > 飯泉仁、飯泉久美子

調査日時 2007 年 1 月 14 日

10:10~13:45 9、晴れ

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	3	4	7
ハジロカイツブリ	0	1	1
カンムリカイツブリ	9	22	31
カワウ	20	100	120
ダイサギ	0	7	7
コサギ	6	13	19
アオサギ	5	6	11
コバハチヨウ	5	6	11
オオハチヨウ	0	5	5
マガモ	2	68	70
カルガモ	43	95	138
コガモ	69	171	240
トモエガモ	0	1	1
オカヨガモ	44	0	44
ヒドリガモ	0	127	127
オナガガモ	0	147	147
ホシハジロ	0	3	3
ミコアイサ	3	7	10
バン	1	0	1
オオバン	113	31	144
タゲリ	0	6	6
ヨリカメ	79	166	245
セグロカメ	1	4	5
合計	403	990	1,393

リ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、キジ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、アカゲラ、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、シジュウカラ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス計 44 種

<参加者> 田丸嘉昭、田丸メリールイス、西巻実、井上正、小玉文夫、野口紀子、片桐邦夫、鈴木静治、桑森亮、中野久夫、橋本清、山本貞江、北原建郎、諏訪哲夫、宮下三禮、玉井修一郎、一番ヶ瀬国彦、松田幸保、島崎純造、石渡成紀、嶋川堯、間野吉幸、柴本三弘、佐々木隆、小林秀美
(担当幹事) 猪爪敏夫 計 26 名

涸 沼 探 鳥 会

12月30日

鳥の美しさに感動

天野正臣

私はこの度探鳥会が12月10日手賀沼探鳥会に次ぐ2度目の参加となりました。前回同様初心者にも会員皆様の優しいご指導によりわかり易く、納得のできる探鳥を楽しむことができました。また、私の双眼鏡では観察が困難な遠方に位置する鳥には、望遠鏡をお持ちの方々が「利用してください」とご親切に声をかけて下さったお陰ではっきり見ることができました。図鑑で見ると違い可憐で美しく感動という言葉で表現できない感激を覚えました。これも会員の皆様が「参加者全員に鳥の美しさと感動を共有できれば・・・」との暖かい思いやりの賜物と感謝しています。

この度の探鳥会では53種と番外1種(黒鳥)と数多くの鳥が観察されました。渡り鳥が飛来できる環境、そしてワシタカ類が住める環境が少なからず存在することに安堵しましたが、生息環境保全の重要性をあらため

て感じさせるものでした。今後、「我孫子野鳥を守る会」に参加する事で、鳥の生息環境保全に役立つことができればと思います。

最後に、車に同乗させていただいた田丸様ご夫妻と鈴木様にはご配慮ご指導いただきました。お礼と感謝をこめて、誠にありがとうございました。

我孫子野鳥を守る会の活動が益々発展することを祈念いたします。

【担当幹事報告】

日 時 2006年12月30日 8:00~16:00
晴れ・風弱 気温 10

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、カワアイサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、アカハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス計 53 種 番外：コクチョウ、カワラバト

<参加者> 田丸メリールイス、諏訪哲夫、西巻実、北原建郎、桑森亮、中野久夫、野口幸子、間野吉幸、大久保陸夫、小玉文夫、松田幸保、鈴木静治、小林寿美子、松本勝英、松本葉子、田中功、天野正臣、小林秀美、清岡万紀子、一番ヶ瀬国彦、金成典知、猪爪敏夫(担当幹事) 飯島博、田丸喜昭 計 24 名

波 崎 探 鳥 会

1月3日

荒波の中 水鳥の逞しさに感動

松下勝子

野鳥の会の末席に仲間入りさせて頂き、2年位経ったでしょうか。めったに顔を出せない不出来な会員です。何かと用事を作り、そちらを優先させてしまう……。暑いとい

っては休み、寒いといっちはさぼる。でも今回は意を決して、銚子行きに参加させていただき、お世話になりました。

この日は、強風・波浪注意報が車内のラジオから流れていました。なるほど着いてみると、高い高い防波堤を遥かに越える波が牙をむいて立ち向かってくる様は、恐ろしくもあり豪快でもあり、初めて見る私には圧巻でした。そんな中を野鳥はものともせず、飛んだり、浮遊したり、潜水したりと美しさと逞しさに只々感動！

それにしても寒い。体はブルブルと震えていましたが、車内の御三方はもちろん、会員の皆様の優しさ、そして親切な思いやりの心に触れて、どんなにか暖かな一日だったことに感謝しています。

野鳥の美しさ、素晴らしさ…でも気になることがひとつありました。我々人間の無責任で身勝手な結果、出してしまった「ごみ・ゴミ・塵」！

そのせいで野山の生き物が苦しんでいることをつらく切なく思います。せめて野鳥の会はタバコの吸殻・ガムの紙一枚でも持ち帰りたいと自分に命じる一日でした。

【担当幹事報告】

日時 2007年1月3日

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ウミウ、ヒメウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、オオハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、シノリガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミコアイサ、カワアイサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、オオバン、ミヤコドリ、タゲリ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ウミネコ、シロカモメ、キジバト、フクロウ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、イソヒヨドリ、シロハラ、ツグミ、エナガ、メジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 55 種
<参加者> 村上稔、桑森亮、小口勝久、西巻実、猪爪敏夫、宮下三禮、田中功、松本勝英、松本葉子、田丸喜昭、田丸メリールイス、間野吉幸、小玉文夫、中野久夫、榎本右、一番ヶ瀬国彦、松下勝子、大久保陸夫、金成典

示 (担当幹事) 松田幸保 計 20 名

芋 煮 会

12月17日

やはり一年の締めくくりは芋煮会

小林秀美
日頃、定例探鳥会を欠席しがちな私としては、ご無沙汰している会員の方々とお目にかかれる絶好の機会が芋煮会だ。去年は、快晴ではあったものの強風に悩まされ、お皿やコップをガードするのにおおわらわだったが、今年は無風状態。しかし、朝のうち雨が降ったせいもあってか、会えるのを楽しみにしていた方々の顔が見られず、ちょっと寂しい芋煮会だった。それでも盛大に燃える焚き火の周りに行かなくても凍えることなく、先輩方の作って下さった芋煮や焼きそばを食べて、美味しいお酒を飲みながらお喋りするうちに、すっかり良い気持ちになり、やはり一年の締めくくりにふさわしい、和やかで楽しい芋煮会をすごさせて頂いた。亥年は大天災が多いというけれど、どうかそんなことの無い穏やかな一年である事を祈りつつ、また今年出会えた数々の鳥たちに感謝しつつ全員で手締めをして、今年の芋煮会も無事お開きとなった。

My どんぶりで芋煮鍋

西嶋みどり

今年も残すところ後 2 週間、12月17日(月)
「我孫子野鳥を守る会」恒例の芋煮会が五本松公園キャンプ場で開催されました。今年から仲間に入れていただいた、新米会員の私たちはキャンプ場の場所がわからず、五本松公園を探し回って少々遅刻してしまいました。我々が着いた時はもう芋煮会が始まっており、大勢の人が集まり暖かい大きなファイヤーがあかあかと燃えていました。毎月の探鳥会の参加者とくらべ、さらに多くのメンバーが参加されており、まずびっくり！今年の芋煮会の参加者は45人でした。当日は、朝からどんより曇った空模様で天気が心配でしたが、会長の開会挨拶は、「風が冷たく雪がちらつく位の天気が芋煮会にはよく似

合う」ということだったとか。天気は次第に良くなり、12日(火)に幹事さん達が運んで準備してくださったたくさんの廃材が各釜で力強く燃え、参加者を暖めてくれました。そしてそうこうしているうちにすぐに焼き鳥、焼きそば、焼肉と次々と出来上がり、アルコールも廻ってきました。メインディッシュの芋煮鍋を担当したのは、JBFの時、紙しばいで親しくなったメンバーで息もぴったり！すでに下準備をしてくださった方は大変だったと思いますが、煮えやすく切りそろえてくださっていたので、おしゃべりしているうちにフツフツと煮えてきました。アクをとって、みそを1kg2パックほど入れ、香りづけに醤油、きざみねぎを足して出来上がり！myどんぶり、myおちゃわんが並びました。フーフー熱くておいしい！里芋に大根、にんじん、しめじ、たまねぎ、豚肉、油揚げ、たくさんの具からいい味が出て絶妙な味になりました。お代わりしておなかいっぱい！持参したおにぎりは出番がありませんでした。記念写真を撮ろうとした時、誰かが「トビとカラス」と空を指差し、この日初めて鳥に関心の目がいった野鳥の会のメンバー達でした。それから恒例のオークションが始まるというのです。何が始まるのかと思っていたら、残った肉やお酒を楽しみ値段で落札するというものでした。誰が考えたのかこれはいいアイデア！見ているほうも楽しかったです。おかげさまで、いろいろな方にお会いでき、おいしくて楽しい芋煮会でした。当日のために準備してくださった方々、後片付けしてくださった方々、本当にありがとうございました。

第24回目の芋煮会事務局報告

染谷 迪夫

今年の芋煮会は天候に恵まれ、暑くもなく、寒くもなく、風もなく楽しく素晴らしい芋煮会でした。参加の皆さんも懇親を深めるとともに楽しんでいただけたことと思います。前もって準備をしていただいた方々に事務局よりお礼を申し上げます。翌日、キャンプファイヤーの後始末が十分でなかったため、市当局よりご指摘がありました。直ちに、幹事の皆さんに召集を掛け、また、焚き火奉行に

お願いし、レンタカーのトラックを手配しました。9名の方々が集まり、残り灰、未使用の廃材などトラックに積み込みクリーンセンターまで運び一件着きました。来年は十分気をつけたいと思います。

日時 平成18年12月17日(日)
10:00~14:00

場所 五本松公園キャンプ場

参加者

赤尾完、猪爪敏夫、岩田マキエ、大久保陸夫、木村正子、小玉文夫、小林寿美子、小林秀美、堀口勝、太田暁子、大野真澄、片桐邦夫、北原建郎、木村稔、西嶋昭生、西嶋みどり、佐々木隆、中尾正直、中野久夫、宮下三禮、六角昭男、西嶋恒子、坂巻宗男、堀口恵子、柴本法子、杉森文夫、野口隆也、橋本清、西巻実、桑森亮、志賀鉄雄、島崎純造、野口鉄蔵、野口紀子、野口紀恵、首藤佑吉、鈴木静治、諏訪哲夫、染谷迪夫、田中功、松本勝英、松本葉子、間野吉幸、一番ヶ瀬国彦、松田幸保 45名

メニュー

料理：芋煮鍋、やきとり、厚揚げ、鉄板焼肉、焼きそば、やきいも、持込手料理等。

飲物：ビール、日本酒、ワイン、焼酎、ジュース、お茶等

H19年1月幹事会報告

日時 H18年1月14日(日)
13:30~16:00

場所 市民会館 2F 第6会議室
議題

H19年上期行事予定
会報195号記載記事について
第3四半期会計報告
JBF実行委員会のJBF終了後の振り返り
H19年度愛鳥週間の表彰の候補水の館の展示用写真のストックの今後と使用規則の作成

長寿大学探鳥会

12月19日

染谷迪夫

日時：12月19日(火)10:00~12:00

長寿大学45名参加者があり探鳥会を行ないました。手賀沼公園より手賀沼大橋脇漁業組合前まで。皆さん人生の達人の域ですが、興味と関心を持って探鳥されて楽しそうでした。わずかな時間に多くの種類を観察して、感心していました。手賀沼は豊かな自然であると認識していただけたらと思います。

< 当会参加者 > 木村稔、鈴木静治、小玉文夫、中野久夫、武藤康之、猪爪敏夫、佐々木隆、北原建郎、染谷迪夫、松田幸保、田中功 計11名

< 認めた鳥 > カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、スズガモ、ホオジロガモ、ミサゴ、オオバン、ユリカモメ、キジバト、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、ジジュウカラ、メジロ、オオジュリン、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計29種 番外 アヒル、カワラバト

市民手賀沼探鳥会

1月21日

間野吉幸

日時 2007年1月21日 9:00~11:50

晴 微風

市民手賀沼探鳥会は、我孫子市、我孫子市環境レンジャー、我孫子野鳥を守る会共催の探鳥会です。手賀沼遊歩道を中心に一般市民の方との探鳥をゆっくりと楽しみました。一般市民の方は、初めて探鳥会に参加された方が多く、色々な種類の美しい野鳥を目の当たりにして歓声を上げていました。これをきっかけに野鳥大好き人間が増えると嬉しいな。
< 認めた鳥 > カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロ、ミコアイサ、チョウゲンボウ、ミサゴ、オオタカ、キジ、

オオバン、オオハクチョウ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計46種。番外：シナガチョウ、バリケン、カワラバト

< 参加者 > 一般市民16名、我孫子市職員1名、我孫子市環境レンジャー・当会会員：田丸喜昭、西嶋昭生、西嶋みどり、諏訪哲夫、佐々木隆、田村和平、金成典知、間野吉幸、類地佑子、松本葉子、松本勝英、桑森亮、鈴木静治、石渡成紀、島崎純造、木村稔、天野正臣、野口紀子、野口紀恵、松下勝子、三浦克良、矢竹晴子、小林薫、成田秀明(担当幹事) 染谷迪夫、佐々木隆、間野吉幸 計44名

第16回手賀沼ふれあい清掃

12月3日

染谷迪夫

恒例の年末の手賀沼ふれあい清掃が実施されました。

日時 平成17年12月3日(日)9:30~11:30

集合場所 手賀沼公園 多目的広場

当会の清掃エリア

ふるさとコース(手賀沼公園~根戸新田) 参加者 間野吉幸、諏訪哲夫、桑森亮、佐々木隆、染谷迪夫、小玉文夫、木村稔、松本勝英、松本葉子、坂巻宗男、類地佑子、猪爪敏夫 計12名

観察記録(12月12日、中央学院高校の運動場横の藪の間の行き止まりの小道)

今にも雨の降りそうな寒い日であったが、アオジの鳴き声につられて山道のような小道に入りこみ、アオジを観察していたところ、ウソの♀が、次に♂が現れた。こちらが一人であり動きが鈍いせい、5-10mの距離で見えてもあまり警戒している様子もなく、紫式部の紫の丸い実を食べ始め、食べ終わると、小道の反対側の藪から蔓の実を盛んに食べていた。♀に比べ♂の首周りの朱色が綺麗であった。鈴木静治

布施弁天の奉納額

西巻 実

布施弁天の本殿の本尊に向かって右側に奉納額があります。「鳥獵結社中寄付」とあり、鳥の獵を行っている結社(組合)が大獵祈願のために奉納したのでしょう。

奉納額の写真をここに載せたいのですが無理ですから説明します。横 1.5m 縦 0.8m くらいの大きな額です。中央に横 0.5m に弁天様の階段から上が描かれています。中央上に本殿があり、手前に竜宮城を思わせる楼門があります。本殿右には鐘楼があり左には庫裏があります。その周りは松や杉の森が黒々と取り巻いています。今の宝物殿や三重塔はありません。弁天様の左右は大きくあいて、そこに鳥獵の様子が描かれています。左下から右上にかすみ網が連なり、それが左右とも 4 筋平行に張られています。網には鳥がかかっている様子が見られます、なかには翼を広げ長い首をだらんと下げたカモと思われる鳥もいます。葦でしょうか、ところどころ水面から草が生えていて、人々は船に乗って網にかかったカモを取り込んでいます。船にはカモを取り込む人、船を操る人二人が乗っています。弁天様の左右に描いてあり弁天様のすぐ近くで鳥獵が行われていた様子です。

鳥獵の行われた場所は、当会の二代会長の故坂巻忠雄氏の話によく出てくる和田沼といます。和田沼は鳥博の時田さんに見せてもらった明治 14 年の地図によれば、現在の布施弁天の西、広い水田が花野井と布施にかけて V の字型に柏市に食い込んでいます。その水田地帯にありました。古地図によれば東西 500m、南北 300m くらいの範囲に 4 つの沼があります。別の地図(年代不明)にはもっと西に伸びていたようです。当時はもちろん水田は一部であり、殆どは河川敷の湿地帯で時代によっては変動していたと思います。いずれにしても弁天様からよく見えたと思います。

故坂巻会長は子供のころの思い出として、和田沼を語りました。多分その思い出でしょう「雁鳴いて 幼き日々の 一つ星」の句が残っています。雁は朝の沼からの出発、夕方時の沼に帰ってくる時、よく鳴きます。一番星の光りだすころ、鳴きながら編隊で帰ってくる情景が目には浮かびます。和田沼が消えたのは北新田などが水田地帯に開発された昭和 20 年代と思います。

奉納額には左下に世話人として 12 人の氏名があり筆頭二名が坂巻姓です。市議員で会員でもある坂巻宗男(故坂巻会長の次男)さんに調べてもらいました。わざわざ会長のお兄さんにも記憶を探っていただきましたが、額の二人の坂巻姓の方は直接ご家族ではなかったようです。お兄さんの住居も明治 14 年の地図では布施村のあたりで、このあたりの住民が鳥獵に当たっていた物と思われます。なお、奉納額の日付は明治 35 年 1 月吉祥日で 1902 年 1 月に奉納されました。100 年以上経過しています。そのため額の絵はうすれ、埃もあるしく見るためには強力なライトが必要です。

奉納額は 100 年以上前の鳥獵を明示している貴重な資料です。

[補足]鳥博友の会の水曜サロンで私が話題にしました。また鳥博の時田さんの資料も拝見しました。そのため「オオバン」に乗せるのが筋ですが、我孫子野鳥を守る会第二代会長故坂巻忠雄氏の思い出には是非触れたいので「ほーほーどり」に掲載します。

なお、故坂巻会長の 13 回忌が今年の 2 月に行われたそうです。

年初め鳥見撮り奮戦記

大久保陸夫

今年は亥年、新年早々から申年の私が酉（鳥）見撮りに猪突猛進、その奮戦記をご披露します。

亥年の3日に「波崎探鳥会」を皮切りに、5日は「筑波山」と「高崎自然の森」、8日は「多摩湖」と「秋が瀬公園」、9日は「舞岡公園」、13日は「大町自然公園・21世紀の森撮影会」と、立て続けに鳥見撮りに出かけました。

その成果の主なものをひもどいてみると、3日は想像以上に色彩豊かで、極至近距離まで近寄ってきて我々バーダーを喜ばせた「シノリガモ」。5日はブルッと羽音を響かせながら私の耳もとを掠め飛び回る猿子（マシコ）「オオマシコ」。8日はシェパード犬のように耳（羽角）をピンとたてた眠れる森の妖精「オオコノハズク」、と目はぱっちりとなっこい華麗なる「ルリビタキ」。9日は薄暗い湿地でポワッとかすかに薄青色に燐光を発する（私感）「アオシギ」。13日はこれでもか、これでもか、と出現する飛ぶ宝石「カワセミ」等・・・を見ることができ、また撮影にも成功しました。今年は新年から縁起がよいわいと大興奮・大感激・大満足です。ちょっと大袈裟かな？

しかし、我ながら驚いたのは、撮影枚数が5日間通算で4,000枚、「しんじられない」。特に撮影枚数の多い鳥の内訳は、カワセミ600枚、アカハラ・シロハラ・シメ・が各30枚、シジュウカラ・ジョウビタキが各200枚でした。なかでもカワセミが圧倒的に多かったのですが、いずれにしても問題なのは「整理はどうするの」？（自問自答、多悩）少々身体をこき使ったきらいはありますが、老体に鞭打ちながらも、なんとか初期の目的を果たせました。しかし、これも私一人ではなし得ないことです。よきパートナーに恵まれたこともあり、サポートいただいたパートナーにたいして心からお礼を申し上げます。

それにしても、今後とも鳥見撮りを楽しむためには、熟年老人の私としては健康が第一だとつくづく感じました。みなさん！私もがんばりますが健康に留意し、歳を忘れ、今年も鳥見撮りを楽しみましょう。

風土記の丘探鳥記

田丸嘉昭

穏やかな天候の1月8日の祝日に、成田に近い房総風土記の丘にでかけました。ウソが沢山いました。公園中央部にある資料館の裏手の池の周辺の林や、その周囲の林です。6-10羽の群れが忙しく鳴きながら移動しています。私の記憶にあるやさしい口笛のような声でなく、強く声量のあるヒューヒューヒューという声で、あちこちから聞こえてきますので、かなりの数がいたものと思われます。地元の人と思われる人が、印旛沼周辺では圧倒的にアカウソが多いので、ここもアカウソでしょうとっていました。私は、双眼鏡と600mmレンズをつけたカメラを持っていったので、逆光とあわせて、アカウソであることは確認していません。（1月14日、手賀の丘公園でも、ウソの鳴き声は、同様に強くヒューヒューヒューでした）。この池の周辺には、コジュケイも多いです。シメもいます。シロハラもかなり出現し、10数個体を見かけました。アカハラは旧学習院校舎前の植え込みで一羽だけ見ただけでした。坂田が池奥の周辺では、ヤマガラとエナガも数多くいました。エナガの頭上の白い帯の幅が広く、シマエナガ？と思ったくらいでした。ヤマガラは、松ぼっくりをくちばしで盛んにつつき、中の芯の部分をついばんでいました。つい最近、ホシガラスが同様な行動をしている

のをテレビで見て、それを思い出しました。姿は見ませんでしたが、声からするとカケスも数が多そうです。

坂田ケ池には、渡りのシーズンほどは、カモの数は多くいませんでしたが、50数羽いたハシビロガモのうち、オスの半数以上は、いつも見るエクリップス後の、胸からわき腹が白や茶色が鮮やかというよりも、黒い点がまだら模様には広がっていました。持参した高野伸二の図鑑には説明がありませんでしたが、家に帰って見た別の写真の図鑑には、昨年生まれの若鳥とでていました。ミコアイサは見かけず。ルリビタキのメス1羽を池の中ほどの橋が架かっている場所の南側で見かけました。ピンズイも春先には多いのですが、この日見たのは1羽だけでした。

帰路、手賀沼の南岸近くでチョウゲンボウがスズメの群れに水平に突っ込んでいく(急降下ではなく)のと私の車が併走しました。飛翔の速度は50kmほどでした。

鳥 だ よ り

昨年12月26日、杉森文夫氏(鳥博)よりハイイロウミツバメに関する鳥情報がab-birdnetへ寄せられましたのでご紹介します。

2006年12月27日16時40分頃、我孫子市鳥の博物館駐車場入口の施設に出かけた折、入口で死亡していた1羽のハイイロウミツバメを拾得しました。現在、鳥の博物館の冷凍庫に保存中。これは、前夜から当日朝にかけての台風並みの低気圧通過に伴う内陸部への迷行事例と思われる。また、我孫子周辺でののはじめての記録と思われる。この鳥の写真は斉藤安行学芸員が撮影しておりますので必要でしたら彼に相談ください。

- | | |
|---|---|
| <p>10.29 [高野山] コカ(1)、自宅北側電線上、頻りに囀鳴き 笹川昭雄</p> <p>11.01 [高野山] ショウ(1)、ヌルデの実を食べる、高野山自宅東側にて 笹川昭雄</p> <p>11.11 [高野山] 材(1) 笹川昭雄</p> <p>11.15 [手賀沼] フ(2)下沼、旧沼南町寄り葦原上空 笹川昭雄</p> <p>11.21 [鷺野谷新田先手賀沼] カヅ(4)親2が雛2に給餌 中野久夫</p> <p>11.22 [北新田] 材(1)獲物(カバト?)を追っかけ土手草中に飛び込み捕獲 中野久夫</p> <p>11.23 [北新田] フ(1)杭上 桑森亮</p> | <p>11.23 [片山新田] フ(1)飛翔、電柱上 桑森亮</p> <p>11.26 [酒井根下田の森] フ(1)11:06、斎藤さんの敷地内から声がしていた 飯泉仁</p> <p>11.27 [北新田] フ(1)沼原上物色飛翔 中野久夫</p> <p>11.27 [北新田] フ(1)電柱上 中野久夫</p> <p>11.29 [曙橋] フ(1)フィッシングセンター前上空を西へ飛ぶ 笹川昭雄</p> <p>11.29 [曙橋] フ(1)タイプ、旧沼南町寄り畦道電柱上、トノサマバツタを捕らえる 笹川昭雄</p> <p>12.03 [手賀沼] フ(7)上6下1 飯泉仁・久美子</p> <p>12.03 [手賀沼] フ(4)上3下1 飯泉仁・久美子</p> <p>12.03 [手賀沼] フ(1) 飯泉仁・久美子</p> <p>12.03 [片山新田] フ(1)葦原で鳴いていた 飯泉仁・久美子</p> <p>12.03 [若松] フ(1)下沼の葦に止まり鳴く、その後遊歩道の桜の木に移動し鳴く 桑森 亮</p> <p>12.04 [柏の葉ふれあい県民プラザ] フ(1)葦原で鳴いていた 飯泉仁・久美子</p> <p>12.11 [岡発戸新田] フ(1)棒に止まり採餌 大久保陸夫・田中功</p> <p>12.12 [都部] フ(2) 1、 1.採餌(ム</p> |
|---|---|

ラサキシキブの実や蔦の実) 5-10mの近距離で観察 鈴木静治

12.12 [布施あけぼの山公園] ヲ(1)木の
上 中西榮子

12.13 [古戸] ヲ(3)採餌 諏訪哲夫

12.16 [片山新田地先遊歩道] ヒ(1)飛翔
桑森亮

12.16 [染井入新田地先遊歩道] ミカ(1)
杭上で餌を食べる 桑森亮

12.19 [手賀沼公園先手賀沼] ミゴ(1)飛
翔 中野久夫他

12.20 [布施あけぼの山公園] ヲ(2)採餌
中西榮子

12.24 [光が丘広池学園] ヤガラ(2)桜の木
で餌を探していた 飯泉仁・久美子

12.24 [岡発戸新田地先遊歩道] オハチョ
(4)下沼遊泳 桑森亮

12.25 [布施あけぼの山] ヲ(2)亜種アカ
2 飯泉仁・久美子

12.25 [片山新田手賀の丘] ヲ(1)亜種ベ
ハラウ雄 飯泉仁・久美子

12.25 [片山新田手賀の丘] キレンシヤク
(1)15:40頃、鳴きながら通過していった
飯泉仁・久美子

01.01 [片山手賀の丘公園] ヤガラ(2)鳴き
ながら木々を移動していた
飯泉仁・久美子

01.03 [中峠利根川ゆうゆう公園] ヒ(1)
飛翔 諏訪哲夫

01.03 [中峠利根川ゆうゆう公園] オハ
(1)飛翔 諏訪哲夫

01.04 [手賀沼] ホル下沼 飯泉仁

01.04 [片山] ヤガラ(5)樹皮を剥がしなが
ら木をのぼっていた 飯泉仁

01.04 [片山] ヲ(1)鳴きながら林の中を
移動 飯泉仁

01.07 [中里新田] フォグンボウ(1)物色飛翔
大久保陸夫

01.07 [北新田] フォグンボウ(2)堤防の標識
上と電柱上 中野久夫・金成典知

01.11 [上沼田] フォグンボウ(1)物色飛翔
大久保陸夫

01.12 [都部新田] フォグンボウ(1)カラスに
追われる 大久保陸夫

01.12 [岡発戸] アガラ(1)採餌 染谷迪夫

01.12 [岡発戸] ノリ(1)休息 染谷迪夫

01.19 [北新田] ベニマシコ(1)木にとまる
北原建郎

今回の観察者の総投稿件数

飯泉久美子	1
飯泉仁	155
飯泉仁・久美子	150
大久保陸夫	29
大久保陸夫・田中功	1
北原建郎	1
桑森亮	17
笹川昭雄	12
首藤佑吉	3
杉森文夫・斉藤安行	1
鈴木静治	1
諏訪哲夫	3
染谷迪夫	2
中西栄子	11
中野久夫	35
中野久夫・金成典知	8
中野久夫他	3
西巻実	1
松田幸保	2
総計	436

(諏訪哲夫)

新会員紹介

H19年1月入会
中嶋正義(我孫子市)
古出洋子(印西市)

我孫子野鳥を守る会 会報 No195 2007年(3 ~ 4月号)

発行 2007年3月1日

発行人 間野吉幸 我孫子野鳥を守る会 会長

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270-1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel 04-7182-3972

振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000円(大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料)